

## 地域別の概況

### 日本

#### 事業環境と業績概要

売上高は前期比1.4%増加し1,120億円となりました。

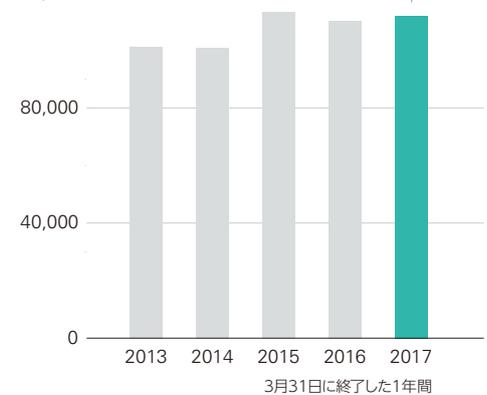
円高を背景に輸出に弱い動きが見られたものの、期の後半にかけて全体的に持ち直し、経済は緩やかに回復しました。当社においては積極的な営業活動を展開するとともに免震・制震装置や医療機器、再生可能エネルギー、ロボットなどの新規分野の開拓に努めました。そのような中、エレクトロニクス向けの売上高を増加させたことなどにより、増収となりました。

#### 売上高

(百万円)

売上高前期比

1.4% Up



#### 拠点一覧 (2017年3月31日現在)

国内	拠点種別	数
国内	販売拠点	47
	生産拠点	12
	開発拠点	1
	商品センター	3

#### グループ企業一覧 (2017年3月31日現在)

- THK株式会社
- THKインテックス株式会社
- トークシステム株式会社
- THK新潟株式会社
- THKリズム株式会社
- 日本スライド工業株式会社

#### 2017年3月期取り組み (実績)

##### 販売面

- 工作機械や半導体製造装置をはじめとする既存分野の深耕を図るとともに、医療機器や再生可能エネルギー、ロボットなどの新規分野の開拓に努めました。
- 幅広い顧客への販売拡大に向けて、一部製品でセミオーダー品の販売を開始するとともに、Web専用最適品自動選定ツールをはじめとするITツールを活用した効率的な営業活動を展開しました。

##### 生産面

- 需要変動に即応した機動的な生産体制の構築を図るとともに、QCDを徹底的に追求しました。
- さらなる生産性向上に向けて、生産工程における自動化、ロボット化に加え、IoTにより工場における機械設備の稼働状況を見える化するイーグルシステムを導入しました。

##### その他

- 経営基盤の強化に向けた各種改善活動などにより、グローバルの競争に耐えられる経営基盤の構築を図りました。

#### 2017年12月期取り組み (計画)

##### 販売面

- 引き続き幅広い顧客向けの販売を拡大させるべく、セミオーダー品や各種ITツールを活用した効率的な営業活動を推進していきます。
- 医療機器や再生可能エネルギー、ロボットなど新規分野への展開を加速させるとともに、IoTや自動運転など新たな市場の開拓を積極化させていきます。

##### 生産面

- 生産工程の自動化、ロボット化に加え、イーグルシステムをはじめとするIoTを活用した各種取り組みにより生産性の向上を図ります。

##### その他

- 引き続き各種改善活動を積極化させ、経営基盤のさらなる強化に努めることにより、売上高の増加とともに着実に利益率を改善していきます。

# 米州

## 事業環境と業績概要

売上高は前期比25.2%増加し630億円となりました。

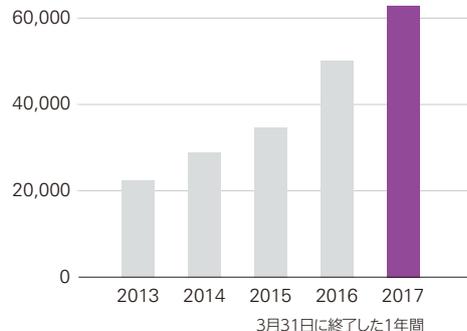
堅調な個人消費や設備投資を背景に経済の回復が続きました。当社においては製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めました。そのような中、エレクトロニクス向けなどにおいて需要が堅調に推移したことに加え、米州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

## 売上高

(百万円)  
80,000

売上高前期比

25.2% Up



拠点一覧 (2017年3月31日現在)			グループ企業一覧 (2017年3月31日現在)		
アメリカ	販売拠点	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• THK Holdings of America, L.L.C.</li> <li>• THK America, Inc.</li> <li>• THK Manufacturing of America, Inc.</li> <li>• THK RHYTHM NORTH AMERICA CO., LTD.</li> <li>• THK RHYTHM MEXICANA, S.A. DE C.V.</li> <li>• THK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION</li> <li>• THK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITED</li> <li>• THK BRAZIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA.</li> </ul>		
	生産拠点	3			
カナダ	販売拠点	1			
	生産拠点	2			
メキシコ	生産拠点	1			
ブラジル	販売拠点	1			

### 2017年3月期取り組み (実績)

#### 販売面

- 資本財メーカーがアジアを中心とする海外に生産をシフトさせる中、医療機器や航空機、エネルギー関連などの新規分野を深耕するとともに、メキシコやカナダなどの新規市場の開拓に努めました。
- 既存顧客の深耕及び競合奪取によるシェア拡大を図るとともに、幅広い顧客への効率的な営業活動を展開しました。

#### 生産面

- さらなる生産性向上に向けて、生産工程における自動化、ロボット化に加え、IoTにより工場における機械設備の稼働状況を見える化するイーグルシステムを導入しました。

### 2017年12月期取り組み (計画)

#### 販売面

- 引き続き既存顧客の深耕及び競合奪取によりシェア拡大を図るとともに、幅広い顧客への効率的な営業活動を強化していきます。
- ロボット関連をはじめとする新規分野における営業活動を積極化させ、新たな需要を創出していきます。

#### 生産面

- 業界で唯一、北米に生産拠点を持つ強みを最大限に活かし、市場ニーズに合致した生産品目の拡充を図ります。
- 生産工程の自動化、ロボット化に加え、イーグルシステムをはじめとするIoTを活用した各種取り組みにより生産性の向上を図ります。

# 欧州

## 事業環境と業績概要

売上高は前期比51.2%増加し460億円となりました。

引き続き経済に緩やかな回復が続く中、当社においては製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、ロボットなどの新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらに加え、欧州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

## 売上高

売上高前期比

51.2% Up

(百万円)  
60,000

40,000

20,000

0

2013 2014 2015 2016 2017  
3月31日に終了した1年間

### 拠点一覧(2017年3月31日現在)

ドイツ	販売拠点	2
	生産拠点	1
	開発拠点	1
イギリス	販売拠点	1
アイルランド	生産拠点	1
イタリア	販売拠点	1
スウェーデン	販売拠点	1
オーストリア	販売拠点	1
スペイン	販売拠点	1
フランス	販売拠点	1
	生産拠点	1
トルコ	販売拠点	1
チェコ	販売拠点	1
	生産拠点	1
オランダ	販売拠点	1
ロシア	販売拠点	1

### グループ企業一覧(2017年3月31日現在)

- THK Europe B.V.
- THK GmbH
- THK France S.A.S.
- THK Manufacturing of Europe S.A.S.
- THK Manufacturing of Ireland Ltd.
- THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH
- THK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a.s.
- THK Capital ULC.
- THK Finance ULC.

## 2017年3月期取り組み(実績)

### 販売面

- 主要顧客や需要予測に基づく効果的なデータベースを構築する中、積極的な営業活動に努めるとともに、引き続き流通販売網の拡充を図りました。
- 新規分野では、将来の市場拡大が見込まれるロボットや3Dプリンターなどの分野において集中的な営業活動に取り組みました。

### 生産面

- さらなる生産性向上に向けて、生産工程における自動化、ロボット化に加え、IoTにより工場における機械設備の稼働状況を見える化するイーグルシステムを導入しました。

## 2017年12月期取り組み(計画)

### 販売面

- 既存顧客の深耕を図るとともに、納期対応、技術サポートなどのサービスを充実させ、さらなる顧客満足度向上に取り組んでいきます。
- 各種ITツールの整備により幅広い顧客向けの効率的な営業活動を積極化させていきます。

### 生産面

- 生産工程の自動化、ロボット化に加え、イーグルシステムをはじめとするIoTを活用した各種取り組みにより生産性の向上を図ります。

### 開発面

- TRAのドイツの研究開発部門とTHKの直動関連、THKリズムの自動車関連の研究開発部門が一体となって相互に強化を図ります。

# 中国

## 事業環境と業績概要

売上高は前期比5.5%増加し295億円となりました。

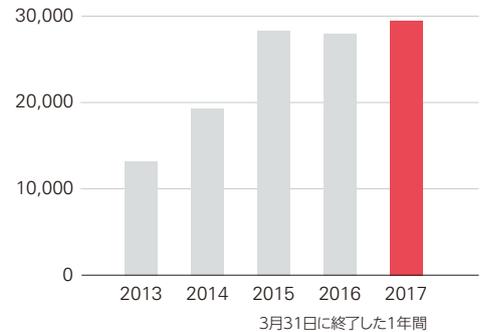
中国では、経済成長が鈍化する中でも賃金の上昇や人手不足などを背景にFAが進展し、当社製品への需要の裾野が着実に広がりました。そのような中、これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開しました。これらに加え、期の後半にかけて全般的に増加した需要を着実に売上高の増加に繋げたことにより、増収となりました。

## 売上高

(百万円)  
40,000

売上高前期比

5.5% Up



拠点一覧 (2017年3月31日現在)		グループ企業一覧 (2017年3月31日現在)	
中国	販売拠点 31 生産拠点 6 開発拠点 1	• THK(中国)投資有限公司	
		• THK(上海)国際貿易有限公司	
		• 大連THK瓦軸工業有限公司	
		• THK(無錫)精密工業有限公司	
		• THK(遼寧)精密工業有限公司	
		• THKリズム(広州)汽车配件有限公司	
		• THKリズム(常州)汽车配件有限公司	
		• THK(常州)精工有限公司	

## 2017年3月期取り組み(実績)

### 販売面

- 引き続き販売網の拡充と新規分野・新規顧客の開拓を進めるとともに、主力のLMガイドに加え、ボールねじのシェア拡大にも努めました。

### 生産面

- さらなる生産性向上に向けて、生産工程における自動化、ロボット化に加え、IoTにより工場における機械設備の稼働状況を見える化するイーグルシステムを導入しました。
- 中国国内における生産拠点の設備の製造やメンテナンスに加え、自動化をはじめとするお客様のニーズにお応えすべく2016年7月にTHK常州精工が本格稼働しました。

### 開発面

- THK中国の技術統括部では、日本の研究開発部門とも連携しながら、引き続き新興国市場のニーズに即した製品開発に取り組みました。

## 2017年12月期取り組み(計画)

### 販売面

- 引き続き販売網の拡充と新規分野・新規顧客の開拓を進めていくとともに、主力のLMガイドに加え、ボールねじのシェア拡大にも努めていきます。

### 生産面

- 生産工程の自動化、ロボット化に加え、イーグルシステムをはじめとするIoTを活用した各種取り組みにより生産性の向上を図ります。

### 開発面

- THK中国の技術統括部では、日本の研究開発部門とも連携しながら、引き続き新興国市場のニーズに即した製品開発に取り組んでいきます。

# アジア他

## 事業環境と業績概要

売上高は前期比8.1%増加し229億円となりました。

ASEAN及びインドにおいて販売網の拡充を進める中、既存顧客の深耕を図るとともに新規顧客を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。加えて、一部地域で中国の需要回復の影響を受ける中、増加する需要を着実に売上高の増加に繋げたことなどにより、増収となりました。

## 売上高

売上高前期比

8.1% Up

(百万円)  
30,000

20,000

10,000

0

2013 2014 2015 2016 2017  
3月31日に終了した1年間

拠点一覧 (2017年3月31日現在)			グループ企業一覧 (2017年3月31日現在)	
台湾	販売拠点	3	• THK TAIWAN CO., LTD.	
シンガポール	販売拠点	1	• THK LM SYSTEM Pte. Ltd.	
インド	販売拠点	5	• THK RHYTHM (THAILAND) CO., LTD.	
タイ	販売拠点	1	• THK MANUFACTURING OF VIETNAM CO., LTD.	
	生産拠点	1	• THK RHYTHM MALAYSIA Sdn. Bhd.	
韓国	販売拠点	13	• THK India Private Limited	
	生産拠点	4	• 三益THK株式会社	
ベトナム	生産拠点	1		
マレーシア	生産拠点	1		

## 2017年3月期取り組み (実績)

### 販売面

- 台湾では工作機械や半導体・フラットパネル関連を中心に、競争奪取や拡大する需要を着実に取り込むことにより売上高に繋げるとともに、幅広い顧客への営業活動を強化しました。
- ASEANでは、「ASEAN Customer Support」において対応エリアの拡充に努めるとともに、2017年3月にシンガポール・タイ・マレーシアにおいて製品選定から注文に至るまでを簡単に実現するサービス「Omni THK」を開始するなど、幅広い顧客向けの販売の強化に努めました。

### 生産面

- 生産工程において各種改善活動に取り組むとともに自動化、ロボット化を推進することにより、生産高の拡大並びに製造コストの低減に努めました。

## 2017年12月期取り組み (計画)

### 販売面

- 台湾では、引き続き流通販売網の拡充や、顧客サービスを強化することにより、幅広い顧客への販売を拡大させていきます。
- ASEANでは「Omni THK」の活用により、営業拠点のない地域も含め、幅広い顧客向けの販売をさらに拡大させていきます。

### 生産面

- 引き続き生産工程において各種改善活動に取り組むとともに自動化、ロボット化を推進することにより、生産高の拡大と製造コスト低減を実現させていきます。